ロシア史研究会 ISSN 0919-990X

# ロシア史研ニューズレター

ОБЩЕСТВО ИССЛЕДОВАТЕЛЕЙ ИСТОРИИ РОССИИ

*No.122* *July 2021*

# 2021年度年次大会（10月23－24日）はオンライン開催 プログラム決定

10 月のネヴァ川（ロシア、サンクトペテルブルク・2019 年 10 月、撮影者：畔柳千明）

**【事務局より】**

ロシア史研究会 2021 年度の大会は、10 月 23 日（土)、24 日（日）の両日に開催されます。既にお知らせしたとおり、本年度の大会は Zoom によるオンライン開催です。コロナ禍による影響が本年限りであることを願います。

プログラムが決定しましたので、概要をお知らせします。パネルと自由論題報告は会員からの応募、共通論題は委員会による企画です。個々の報告の要旨は次号に掲載される予定です。

大会に関するお問い合わせは、ロシア史研究会事務局 巽 tatsumi〔at〕tufs.ac.jp 宛にお寄せください。（〔at〕を@に換えてください。）

**＜大会時の託児について＞**

二回目のオンライン開催の今年度も、子供が在宅する状態でのテレワークは補助者がいなければ極めて困難であることを勘案し、「任意の託児所利用に対する補助」（自宅でのシッター利用等に対して、1 日につきお子様１人あたり 3000 円を支給）を実施いたします。大会２か月前ごろに ML において告知し、その後に申請を受け付けます。ご質問がありましたら、事務局までお気軽にお寄せください。

# 2021 年度 第 65 回ロシア史研究会大会プログラム

**10 月 23 日（土）**

| | |
|---|---|
| 10:00-10:55 | **【自由論題①】**<br>神長英輔（国学院大学）<br>「ソ連メディアに見る「北洋」：1930 年代のソ連における「日本」の構築」<br>コメンテーター：天野尚樹（山形大学）<br>司会：熊倉潤 |
| 11:00-11:55 | **【自由論題②】**<br>田中まさき（早稲田大学ロシア東欧研究所）<br>「リャザーノフ映画にみる「停滞」の時代の終焉」<br>コメンテーター：高橋沙奈美（九州大学）<br>司会：畔柳千明 |
| 13:00-15:30 | **【共通論題 A】「ソ連解体 30 年」**<br>藤澤潤（神戸大学）<br>「東欧圏の解体過程」<br>石井明（東京大学）<br>「ソ連解体の衝撃と中国共産党の対応」<br>酒井啓子（千葉大学）<br>「ソ連解体から 30 年、9.11 から 20 年、アラブの春から 10 年：冷戦が中東に残した「ごみ」は回収されたのか」<br><br>コメンテーター：塩川伸明（東京大学）<br>司会：宇山智彦 |
| 15:40-17:10 | 総　会 |
| 17:30- | 懇親会 |

**10 月 24 日（日）**

| | |
|---|---|
| 10:00-12:00 | **【パネル A】「シベリア出兵：その内外への波及」**<br>兎内勇津流（北海道大学）<br>「沿海州ゼムストヴォ参事会臨時政府(1920 年)試論」<br>長田彰文（上智大学）<br>「シベリア出兵と朝鮮独立運動――社会主義と民族主義の相克」(仮)<br>青木雅浩（東京外国語大学）<br>「ロシア反ボリシェヴィキ派とモンゴル」(仮)<br><br>コメンテーター：横手慎二（慶應義塾大学）<br>司会：田中良英 |
| 12:00-13:00 | 昼休み |

| | |
|---|---|
| 13:00-15:00 | **【パネル B】「昭和のロシア：<br>戦後の日ソ文化外交の歴史的分析に向けて」**<br>**半谷史郎（愛知県立大学）**<br>**「ソ連製ワクチンの緊急輸入（1961 年 6 月）：ポリオ生ワク闘争を日ソ関係史に位置づける」**<br>**斎藤慶子（日本学術振興会特別研究員）**<br>**「日本国際芸術協会の対ソ連文化交流活動（1957－1964）」（仮）**<br>**巽由樹子（東京外国語大学）**<br>**「文化外交、文化冷戦、文化社会学――研究動向について」**<br><br>**コメンテーター：生田美智子（大阪大学）**<br>**司会：左近幸村** |
| 15:10-17:10 | **【共通論題 B】 "Russia and the Middle East"**<br>Etienne Forestier-Peyrat (Lille Institute of Political Studies, France)<br>"The Role of Caucasian and Central Asian Regional Authorities in the Making of Tsarist/Soviet Diplomacy in the 'East,' 1900s-1920s"<br>Yudai Lee (University of Tokyo)<br>"A New Treaty Concluded, but Implemented? Persia and Soviet Russia after the Abolition of Unequal Treaties in 1921"<br>Taro Tsurumi (University of Tokyo)<br>"The Path Dependency of Memory: Pogroms in Ukraine during the Civil War and Riots in Palestine in the 1920s"<br><br>Discussant: Norihiro Naganawa (Hokkaido University)<br>Chair: Tetsuro Chida |

**【新会員紹介】**
2021 年 5 月～6 月の新入会員（2 名）をお知らせします。

張　彬彬（チャン　ビンビン）
所属：東京大学大学院総合文化研究科博士課程
専門分野：ソ連と東アジアの国際関係、日露・中露関係史
入会日：2021 年 5 月 10 日

冬木　里佳（ふゆき　りか）
所属：東北大学大学院文学研究科博士後期課程
専門分野：後期ソ連における社会政策（フルシチョフ期を中心に）
入会日：2021 年 6 月 17 日

**【献本紹介】**
寄贈書籍（3 点）をご紹介します。

- 左近幸村『海のロシア史：ユーラシア帝国の海運と世界経済』名古屋大学出版会、2020 年
- アコマトベコワ、グリザット『転換する観光経験――ポスト社会主義国キルギスにおけるソ連時代経験者の観光実践を中心に』立教大学出版会、2021 年
- 『古代ロシア研究』XXV、日本古代ロシア研究会、2021 年

**【例会のお知らせ】**
例会が Zoom によるオンラインで開催されます。ご参加いただける方は、下記「参加申し込み URL」から、7 月 23 日（金）までにご登録いただければ、前日までに、Zoom Meeting の URL と、レジュメをお配りします。

日程：7 月 25 日(日) 14 時～
報告者：伊丹聡一朗氏（明治大学大学院博士後期課程）
題目：「イェルマーク以前――14 世紀におけるロシア人の東方・北方進出――」

参加申し込み URL： https://forms.gle/BEGe1igT9Gdp5oD59
申し込み期限：7 月 23 日（金）

問い合わせ先：池本今日子（例会担当）
kyoko.ikemoto2018[at]gmail.com（〔at〕を@に換えてください）

----------
ロシア史研ニューズレター
第122号　2021年7月1日発行
編集・発行　ロシア史研究会委員会
（河本和子・畔柳千明）
〒183-8534
東京都府中市朝日町3-11-1
東京外国語大学 大学院総合国際学研究院
巽研究室気付
----------